

第 1 回専門部会でいただいたご意見等と回答

【がん】【循環器疾患・糖尿病】

<ご意見>

学校でのがん教育について、文部科学省でも、3~4 年前からがん教育を取り入れている。

教育委員会でもがん検診の大切さを伝える教育を取り入れてほしい。

<回答>

平成 28 年度にモデル事業として、衣笠・追浜中学校の 2 校で保健体育科保健分野及び道徳の各教科等で、「がんについての正しい理解と命の大切さについて考える」内容で授業を行った。

平成 29 年度は、県教委より「神奈川県外部講師を活用したがん教育授業実施校の募集」について、市内小・中・高等学校を対象とした依頼があった。

平成 29 年 3 月に公示された中学校の新学習指導要領（H33 年度全面実施）には、生活習慣病などの予防でがんを取り扱うことを示している。

（教育委員会 保健体育課確認）

【健康づくりを目的としたネットワーク】

<ご意見>

ラジオ体操登録団体数を新たに評価指標に追加することについて、他の計画との兼ね合いもあるとは思いますが、本計画についての目標値は明記した方がいい。

<回答>

横須賀市実施計画と同様に 100 団体としたい。

<ご意見>

ラジオ体操サポーターの人数については、目標達成していて素晴らしい。せっかく推進をして成果があったのに、最終評価の時にそれが表れないのは残念。中間評価で目標値は達成したが、目標値はそのまま評価指標は残しておいてもいい。

<回答>

サポーターの役割は大きく、市と地域のつなぎ役となり、団体数の増加にも貢献している。「削除」ではなく、「達成したもの」に変更。

今後は純増ではなく、地域差解消に向け、きめ細かい対応に移行するため、新たな目標値は設けない。

<ご意見>

量でなく、質を上げていく、地域格差をなくしていく活動ができるようなサポート研修会や養成の仕方を検討してほしい。

<回答>

そのように方向転換を考えていく。((資料) 中間評価及び新目標値 5.6 ページ参照)

【栄養・食生活】【食育】

<ご意見>

肥満の割合(40歳～60歳女性)は、策定時が15.5%、中間値が16.4%で、なぜ「△」なのか。

<回答>

当初はプラスマイナス1%以内で、あまり変化のなかったものは「△」と整理していた。しかし、再度検討し、策定時より悪化したものについては「×」、プラス1%以内のものについては「△」とさせていただく。

<ご意見>

目標値を変更できないのは仕方ない。

適正体重でない者は、性別、年齢、肥満、やせなど特徴がある。

現状と課題はやせに多くふれているが、表の中ではそれがすぐにわからない。次に進むときは、もう少しそのあたりの傾向を明らかにして、それぞれの取り組みにつながるような説明を欲しい。

<回答>

アンケートから見えているものをのせたが、確かに表は肥満が中心である一方、課題の文章はやせが中心になっているので、次回専門部会では、やせ、肥満を整理した形で示したい。目標値の変更や、新たな評価指標は加えていない。議論し、議論いただける資料を作る。((資料) 中間評価及び新目標値 10.11 ページ参照)

*参考

中学校でのやせ、肥満に対する取り組みについて

やせ・肥満に特化してはないが、学習指導要領に生活習慣病のことが入っていて、運動・睡眠・食事などの観点から話はしている。また、家庭科でも食事バランスの学習はする。「保健だより」で保護者への周知も図っている。健康手帳に、成長曲線を入れている。

(教育委員会保健体育課確認)

<ご意見>

「1日3食食べる人の割合」になぜ高齢者は入っていないのか。経過もあると思うが、低栄養が心配である。

<回答>

高齢者は、比較的食べている割合が高かったので、入れなかった経過がある。今回のアンケート結果でも割合が高かったので、評価指標には追加しない。

【身体活動・運動】【休養・こころの健康】

<ご意見>

運動について、目標値をあげる記載があるが、数値が入っていない。

<回答>

生活活動（通勤・買い物・掃除等）の中で、運動量を高める工夫をしている人の割合は、希望する数値ということで、目標値を75%とする。また、習慣的に運動（1回30分以上の運動を週2回）している人の割合（成人男性）については、策定時から中間値までの伸び率にあわせ(49%→50.4%)、目標値を52%とする。

【喫煙】【飲酒】【歯・口腔の健康】

<ご意見>

未成年の喫煙率が「0%に近づける」だが「0%」にすべきでないか。若い人の健康不安があるので、ぜひ「0%」にしてほしい。

<回答>

0%に変更する。